

# 50周年ビジョン

50th anniversary vision

# ビジョン策定にあたり — 周年ビジョンとは —

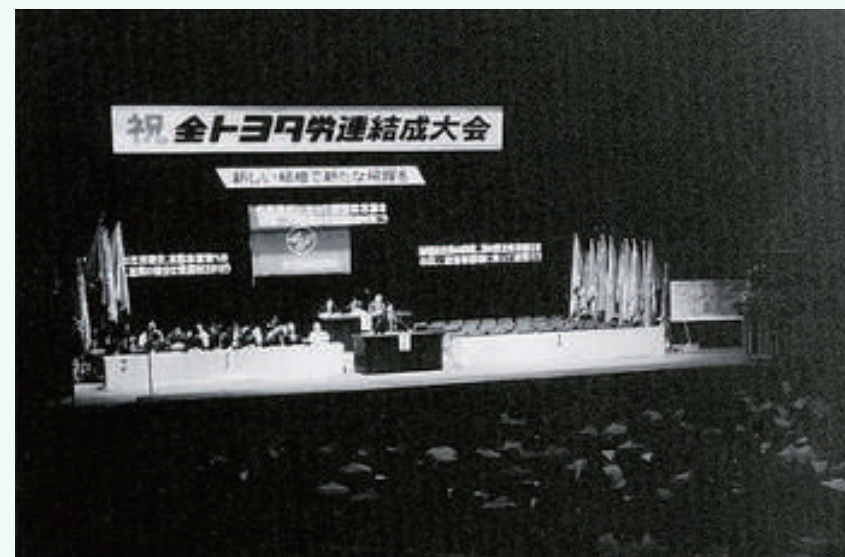
自動車産業が、  
日本の骨格を支える産業となりつつあった1972年、

「トヨタはひとつ」

この基本理念を掲げ、全トヨタ労連は結成されました。

日本の自動車産業の歴史は、  
常に時代の変化と激しい競争にさらされてきた歴史。

自動車産業が、大きな変化を迎えるたび、  
全トヨタ労連も「周年ビジョン」をつくり、  
時に基本理念を再構築、時に新しい方向性を掲げ、  
次の時代の在り方、方向性を見つめなおし、  
歩んできました。



<全トヨタ労連 結成大会>

# ビジョン策定にあたり — 周年ビジョンとは —

100年に一度の大変革と、  
コロナという未曾有の災禍が、  
一挙に押し寄せる中、  
私たちは、不変と思っていた活動の多くを、  
見直す状況に直面しています。

特に先が見通しづらい、この「10年」を歩むため、  
自分の立ち位置を確認し、変化に対応できる考え方を。

そんな思いで、見出した50周年ビジョン。

策定してゴールではない、  
この考えをもとに、  
進むべき航路を皆さんと一緒に議論し、  
荒波に立ち向かっていきたいと考えています。



<30周年ビジョン>



<40周年ビジョン>

# 取り巻く環境・この10年で進む変化・やるべきこと

自動車産業  
100年に  
一度の変革期

かつてない社会・  
生活様式・  
価値観の変化

少子高齢化による  
働き手の減少

SDGs・ESGの  
考え方の広まり





# 自動車産業100年に一度の変革期

## 取り巻く環境

産業構造が変化していくなか、  
新たな仲間と協働する機会が増える一方で、  
既存事業からの撤退や新事業への転換が進んでいく。

## この10年で進む変化

加盟組合の中にも、  
今までとは異なる職場・仕事に移る仲間が増えていく。

取り巻く環境・この10年で進む変化



# 少子高齢化による働き手の減少

## 取り巻く環境

少子高齢化の更なる進行により、  
労働人口も急激に減少し、  
産業間で働き手を奪い合う状況。

## この10年で進む変化

製造・販売・輸送全ての加盟組合において  
深刻な人手不足に陥り、職場運営に支障が発生する。

取り巻く環境・この10年で進む変化



# かつてない社会・生活様式・価値観の変化

## 取り巻く環境

多様性の重要性が浸透してきた中であって、  
コロナ禍を機に、働き方や働く価値観も  
これまで以上のスピードで変化・多様化。

## この10年で進む変化

組合員の「幸せ」も多様化するのに伴い、  
労働組合が担う役割も変化していく。

取り巻く環境・この10年で進む変化



# SDGs・ESGの考え方の広まり

## 取り巻く環境

気候変動や持続可能な社会実現への意識の高まりが、個人の選択や行動に変化が生まれる。

## この10年で進む変化

社会からの共感を得られない企業・団体に対しての評価は下がり、存在意義を失っていく。

取り巻く環境・この10年で進む変化



# この10年で進む変化・やるべきこと

全トヨタ労連が成し遂げたいこと（40周年ビジョン）

「組合員とその家族の幸せの実現」・「希望の持てる日本社会づくり」

（自動車産業が成長エンジンになる）



# この10年で進む変化・やるべきこと

## <この10年で進む変化>

組合員の「幸せ」の多様化とともに、労働組合が担うべき役割も変化していく。

加盟組合の中にも、今までとは異なる職場・仕事に移る仲間が増えていく。

製造・販売・輸送全ての加盟組合において深刻な人手不足に陥り、職場運営に支障が発生する。

## <やるべきこと>

価値観が多様化していく中において、全トヨタ労連の存在意義・担うべき役割は、常に見つめ直す必要がある。

活動の目的・優先度を明確にし、変化への対応に備えた活動にシフトしていく必要がある。

次世代の若者に選ばれる産業・会社・職場であり続けるために、労使が相互信頼のもと、本音で対話ができる関係を結び、前に進まなければならない。



# この10年で進む変化・やるべきこと

多くの変化が進む次の10年に向け、

結成以来大事にしてきた

考え方・活動・関係性を改めて見つめ直し、

行動に移すため、ビジョンを策定する

ビジョン・ミッション・バリュー

【ビジョン -全トヨタ労連が目指す姿-】

自ら輝く仲間と

信頼をつむぐ。

未来をつくる。

大変革期にあって、取り巻く環境は変化し、  
コロナ禍によって、働き方や活動が多様化する、  
結成50周年の今、基本理念の「トヨタはひとつ」の思いを、大切に受け継いでいく。

組合員との信頼、労使の相互信頼、加盟組合と労連の信頼

働く者が日本の自動車産業の可能性に抱く信頼

変化する時代こそ、同じ目的に向かって「ひとつ」になるために欠かせない

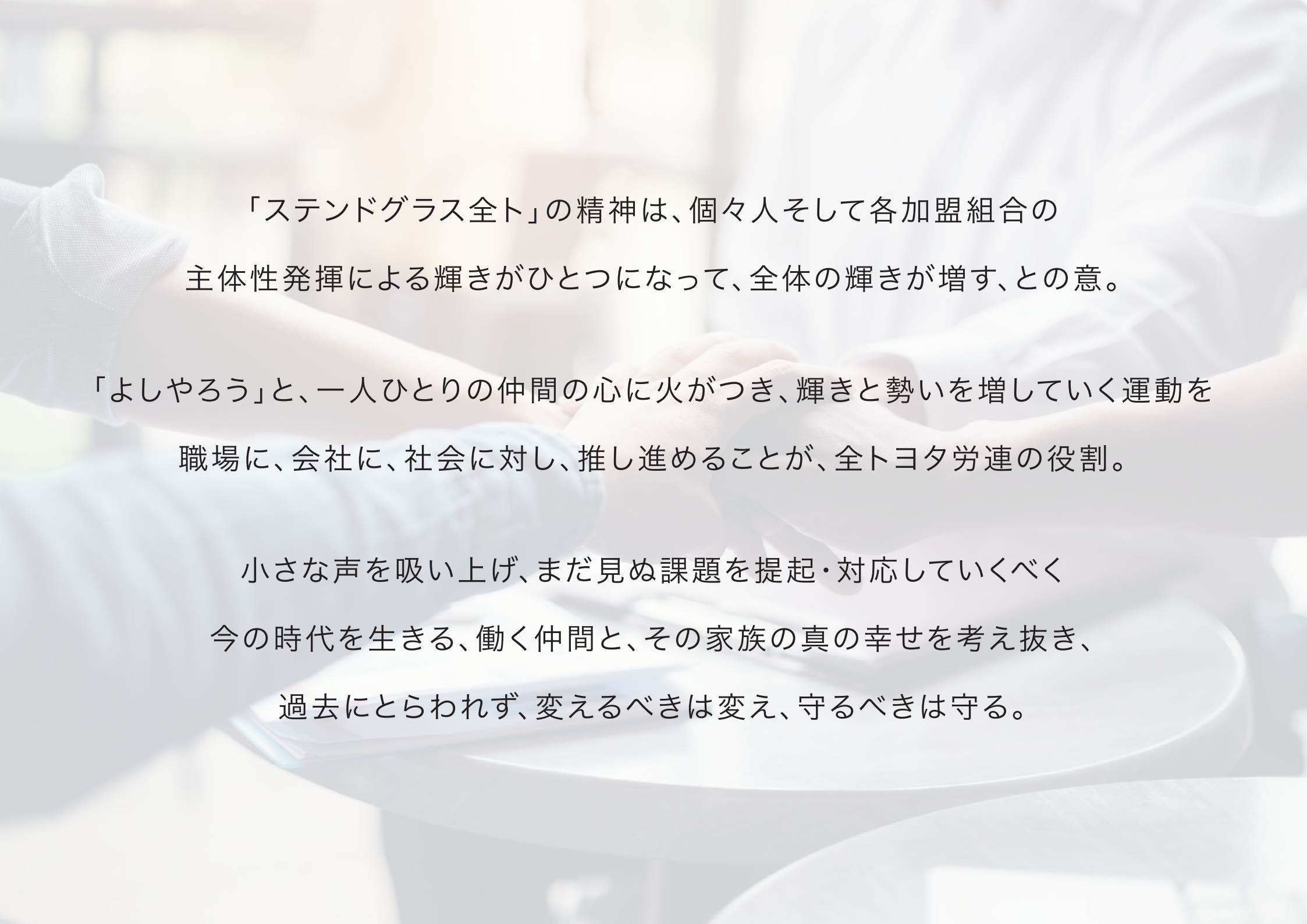
「信頼」をつむぐことを大切にす10年にしたい。

そしてその先にある、一人ひとりが自ら輝きを放つ未来を、みんなでつくり出していく。

【 ミッション - 全トヨタ労連が果たす役割 - 】

「仲間の心の火を燃やす。」

「働く者の幸せのため変える。守る。」



「ステンドグラス全ト」の精神は、個々人そして各加盟組合の  
主体性発揮による輝きがひとつになって、全体の輝きが増す、との意。

「よしやろう」と、一人ひとりの仲間の心に火がつき、輝きと勢いを増していく運動を  
職場に、会社に、社会に対し、推し進めることが、全トヨタ労連の役割。

小さな声を吸い上げ、まだ見ぬ課題を提起・対応していくべく  
今の時代を生きる、働く仲間と、その家族の真の幸せを考え抜き、  
過去にとらわれず、変えるべきは変え、守るべきは守る。



## 【 バリュー –ビジョンの先に得られる価値– 】

- 一、自ら動くことでもっと良い未来を創れるという自信と希望
- 一、感謝の心を忘れず、だれかの笑顔のために貢献しようとする行動姿勢
- 一、同じ志を持つ仲間と成長し、結ばれる強い絆
- 一、労使がお互いの目標実現に最大限努力する、労使相互信頼の関係
- 一、社会に広く気づきと共感をもたらし、行動をうながす運動

# 基本理念・綱領・周年ビジョン

## ビジョン: 10年後目指す姿

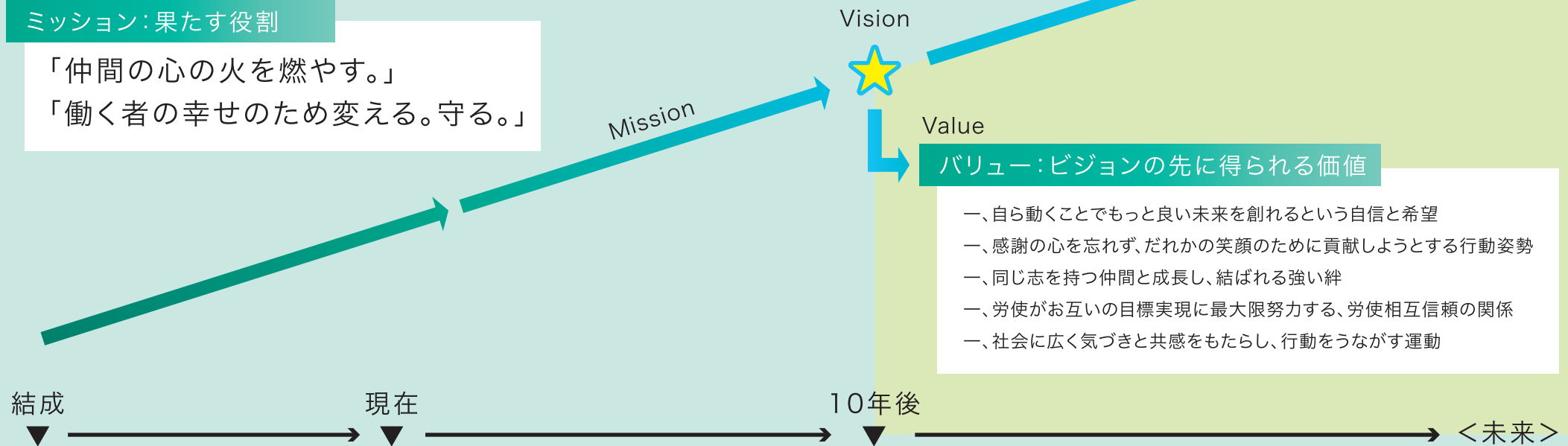
「自ら輝く仲間と信頼をつむぐ。未来をつくる」

## ミッション: 果たす役割

「仲間の心の火を燃やす。」  
「働く者の幸せのため変える。守る。」

## 40周年ビジョン

「組合員と家族の幸せの実現」  
「希望の持てる日本社会づくり」



## 基本理念: 全ト結成の原点

### 「トヨタはひとつ」

トヨタ車の製造・輸送・販売を通じて密接に影響し合い、お互いの立場を尊重しながら、グループ全体の活力向上を目指す。

### 「SGZ (ステンドグラス全ト)」

個々人そして各加盟組合の主体性発揮による輝き・魅力がひとつになってこそ、グループ全体の輝きが増す。

### 「労働条件の長期安定的向上」

その時々々の短期的な企業業績に直接左右されることなく、長期安定的に労働条件を向上させていく。

### 「車の両輪」

「働く者の生活の安定と企業の発展は車の両輪」という考え方にに基づき、労使が相互に信頼し合い、相互に責任を果たす企業・グループ労使関係を構築していく。

## 綱領: 活動の原則

1. 自主的、民主的運営
2. 社会的使命
3. 労使相互理解
4. 創造的活動

